1.1 2020年度 事業報告書(20201231)

1. 2020年度活動指針

5か年戦略(2018~2022年)「想像以上の未来へ」を実現するため、関東地方におけるジュニア世代やソーシャルクリケットにおける参加者数の増加を図るとともに、関東以外での競技拠点の整備を進める。

2. 2020年度重点目標

重点戦略	重点事業	事業報告
ジュニア	 ジュニア普及プログラムの標準化を完了する。 CRICKET BLASTスクールシリーズ(放課後プログラム)のモデルを確立し、シリーズ参加者を増加する。 川崎市でジュニアクラブを開設する。 	 CRICKET BLASTスクールシリーズの内容見直しを 実施、CRICKET BLASTプログラム全体のアップ デートを実施予定 川崎ジュニアクラブ開設(2021年開設検討)にあたり BSTとグラウンド利用について合意、体験会を実施 川崎市と協議を開始し、協働を開始した。
ソーシャル	 パートナー企業社員や佐野、昭島などの拠点地域住 民などをターゲットとしたソーシャルクリケットを 実施する。 	 パートナー企業向けや学生向けソーシャルクリケットイベントは新型コロナウイルスの影響で中止 Women's J-BASHソーシャルを2回開催 佐野社会人リーグを開催 昭島クリケット祭りは中止
施設	 貝塚市にハードピッチを設置する SICGに屋内ネッツを設置する 川崎に屋外ネッツを設置する 佐野市渡良瀬川クリケット場(第1・第3)のマットを リニューアルする 富士第2クリケット場のマットをリニューアルする 	 貝塚市にハードピッチを設置、芝拡張実施 貝塚市立クリケットフィールドがオープン SICGに屋内ネッツを設置 川崎に屋外ネッツを設置 佐野市渡良瀬川クリケット場(第1・第3)のマットを貼り替え 富士第2クリケット場のマットを貼り替え
Å	● 地域協会への支援を強化(運営、大会、ジュニアプロ	【地域協会・大会運営支援】

	グラムなど) • 大会運営支援を強化 • クリケットコミュニティへの参加機会を増加(ソー シャル大会、プロモーションイベント、講習会等)	 ・ 関西協会の一般社団法人化を支援 ・ 各地域協会の大会運営支援を実施 【クリケットコミュニティの参加機会】 ・ 日本プレミアリーグを関東の東西南北の地域選抜4 チームから関西を加えた5チームにより7月に開催 し、ライブ配信を実施 ・ エンバシーカップを9月に開催し、ライブ配信を実施 ・ 日本代表強化選手団からインターンを受け入れ
PR	● 2つの話題で全国メディア露出	 NHK Eテレに佐野ジュニアクリケットクラブが出演 U19ワールドカップに関連し、インド紙、ネットその他で大きな露出。サーゲート理事がBBCラジオ(英・豪・印・ネット放送)出演 山本武白志選手(日本代表強化団選出)関連記事が東京中日スポーツ掲載、FMヨコハマ出演。 日経新聞に「非五輪競技の挑戦」として記事掲載
日本代表	 ICC U19 World Cupに出場する 強化プログラムに固定のコーチを確保する 選手負担金を見直す 	 ICC U19 World Cupに出場(16チーム中16位) 新任のハイパフォーマンス・マネージャーが来日
その他	 パートナー企業とのエンゲージを向上させる 事務所移転 	 既存パートナーと協議し、パートナー活動を実施 プレスリリースパートナーを新規契約 事務所移転について佐野市と合意

3. 2020年度実施事業

1) 普及事業

	事業名	事業内容	事業報告
--	-----	------	------

」 −般社団法人日本クリケット協会 2021年通常総会

						【東北】
	地域 /まち ジ	ュニア	ソーシャ ル	施設	サポー タークラ ブ	 2回メディア露出 【佐野】 クリケットブラスト、ソーシャルリーグは別項
	東北			0		目参照 ● サポータークラブの2020年受領会費は、
	北関東 / 佐野	0	0	0	0	5,817,000 円 ● 8回メディア露出 【昭島】
	西関東 / 昭島	0	0	0	0	 クリケットブラスト、ソーシャルリーグは別項 目参照 サポータークラブの2020年受領会費は、
「クリケットのまち」	東関東 / 山武			0		2,221,000円 ● 1回メディア露出
「クリクットのまち」 づくり	東京近 郊 / 川崎	0		0		【山武】 ● グラウンドを年間予約 【東海】
	東海 / 富士			0		 1回メディア露出 【貝塚】
	東海 / 愛知			0		 クリケットブラストは別項目参照 ハードピッチ施工及びグラウンド整備完了 女子国際試合が開催できる広さに芝生を拡張
	関西 / 貝塚	0	0	0		 貝塚市立クリケットフィールドがオープン グラウンド利用及び維持管理について市と合意
	その他			0		 ● 1回メディア露出
CRICKET BLAST プログラム	楽しいクリケッ リケットのまち 教員研修、大学 導者やボランテ	5」を中, 学やスポ-	心に提供す∙ −ツ団体な	る。特に普 どとの連携	及員研修、 によって指	【佐野】 • 学校プログラムで、3校、10回で280人(延べ540 人)に体験・学習提供 • 体験会で、12回開催し、984人が参加 • スクールシリーズで、4校、5シリーズを実施、

		 140人(延べ392人)が参加 春季シリーズで、4回実施し、41人(延べ78人)が 参加 秋季シリーズで、4回実施し、63人(延べ95人)が 参加 「昭島】 学校プログラムで、10校、180回で1,335人(延べ 5,242人)に体験・学習提供 予定されていた体験会は、新型コロナウイルス の影響で全て中止となった。 部活動で、41回実施支援し、5名所属 スクールシリーズで、1校、1シリーズを実施、 22人(延べ37人)が参加 春季シリーズ(オンライン)で、4回実施し、6人 (延べ13人)が参加 秋季シリーズで、4回実施し、34人(延べ74人)が 参加 「川崎】 川崎市と協議を開始し、協働を開始した。 【貝塚】 学校プログラムで1校、6回で15人(延べ90人)に 体験・学習提供 体験会で、1回開催し、50人が参加 【江戸川/三重】 新型コロナウイルスの影響で中止
ジュニアクラブ	財政的に自立した地域クラブを「クリケットのまち」を 中心に展開し、小学生から高校生までのジュニア層に日 常的にクリケットをする機会を提供するとともに、生涯 にわたってスポーツにかかわる習慣や情熱を育む。ま た、クリケットの発展を担う人材や世界で活躍できる選 手の育成を図る。	 【佐野ブレーブス(ハードボール)】 毎週、月曜日開催、19人所属 【佐野オリオンズ(ソフトボール)】 毎週、木曜日(エンジョイ、スキルアップ)と金曜日(エキスパート)開催、15人所属 【佐野ウォータークラウン】 毎週、水曜日(エンジョイ、スキルアップ、エキスパート)、14人所属 【昭島アビエーターズ】 毎週、金曜日(エンジョイ、エキスパート)開催、27人所属

		【川崎】 ● 新たなジュニアクラブの開設準備中、体験実施
ジュニアチーム	特に「クリケットのまち」などの周辺の中学、高校、インターナショナルスクールなどでU19やU15の学校チームの設立を支援し、U15やU19世代での競技人口増加を促進。	 英国の学校の日本校開校にあたり、クリケット 活動についてコミュニケーション 広島のインターナショナルスクールとクリケット活動についてコミュニケーション 岡山の学校法人とクリケット活動についてコミュニケーション
パートナーシップ	 世界のクリケット関係団体との人材交流によって、スポーツの発展に必要な専門的人材を確保・育成するとともに、スポーツによる国際親善を促進。 提携団体: Cricket Victoria Marylebone Cricket Club Cricket Without Borders Maribyrnong Sports Academy 	 【Cricket Victoria】 普及事業におけるCVスタッフ招聘、MCCスタッフまたは選手招聘、Cricket Without Bordersインターンシップ、Maribyrnong Sports Academyへの選手派遣は新型コロナウイルスの影響で中止
CRICKET FOR SMILES プログラム	復興支援事業として、東北地域の「クリケットのまち」 の候補地選定を推進し、仙台大学女子日本代表チャレン ジを実施。	 仙台大学クリケット部へのコーチ派遣、大会出場支援、指導者研修などを実施 Women's J-BASH チャレンジリーグに仙台大学の出場を支援 東北地域の「クリケットのまち」候補地選定に向け、グラウンドについて自治体と協議中
指導者育成	リーグやクラブにおいて、コーチ・アンパイア、スコア ラーなどを育成し、競技人口増加、選手育成、大会運営 を促進。	 東京、愛知、関西で予定されていた講習会は新 型コロナウイルスの影響で中止
地域協会支援	 設立、運営支援 ジャパンカップ地域予選開催支援 CRICKET BLASTプログラム実施支援 	【地域協会支援】 ● 3月21、22日に予定されていた地域協会会議は 新型コロナウイルスの影響で中止 ● 関西協会の一般社団法人化を支援 ● ジャパンカップ地域予選開催を支援

グラウンド維持管理	 佐野市国際クリケット場 佐野第1~4クリケット場 富士第1~2クリケット場 貝塚市クリケットフィールド 	 【佐野市国際クリケット場】 2019年度の業務報告 2020年度の整備計画立案と受注 第2グラウンドの南エリアの整備に着手 【佐野第1~4クリケット場】 第1、第3グラウンドの人工芝を貼り替え 【富士第1~2クリケット場】 富士第2クリケット場のマットを貼り替え 芝刈り機の新規購入 グラウンドマネージャーとの調整 【貝塚市クリケットフィールド】 維持管理業務について市と協議
施設整備	各地域で戦略的立地にグラウンドや練習設備の整備を進め、競技人口増加を促進させるとともに、交流人口の増加やグラウンド周辺での普及活動によって地域との共栄を促進。 佐野市国際クリケット場にネッツを設置する 川崎市にネッツを設置する 貝塚市にハードピッチを設置する 宮城県でのグラウンド候補地の調査・検討 昭島市近辺でのグラウンド候補地の調査 	 【佐野市国際クリケット場】 ● 屋内ネッツを設置 【川崎市長沢スポーツグラウンド】 ● 屋外ネッツを設置 【貝塚市クリケット場】 ● ハードピッチを設置 ● グラウンド整備工事への助言 ● 女子国際試合が開催できる広さに芝生を拡張 ● 貝塚市立クリケットフィールドがオープン 【宮城県でのグラウンド候補地の調査・協議】 ● 有力候補地について自治体と協議中

2) 大会事業

事業名	事業内容	事業報告
バードボール大会 (U15/U19/大学/女子/男 子)	それぞれの年齢、性別、レベル、形式に応じた全国大会 を開催する事で、地域大会の開催を支援し、ブレーする 場を提供するとともに、スポーツツーリズムを推進し、 地域との共栄を促進。 日本プレミアリーグ ジャパンカップ全国決勝大会 ジャパンカップ地域予選(東北、北関東、東関 東、西関東、南関東、東海、関西) 日本クリケットリーグ 富士40リーグ WOMEN'S J-BASH 日本女子クリケットトーナメント 日本女子クリケットレーグ チャンピオンズウィケット(学生) 関東学生選手権(男女) 日本U19クリケットリーグ ・日本U15クリケットリーグ	 日本プレミアリーグ、関東及び関西の5地域代表が出場 ジャパンカップ全国決勝大会、台風の影響で中止 ジャパンカップ地域予選 東北、2チーム出場 東関東、6チーム出場 市関東、7チーム出場 南関東、8チーム出場 南関東、8チーム出場 東海、4チーム出場 国西、7チーム出場 国西、7チーム出場 国西、7チーム出場 国西、7チーム出場 国本クリケットリーグ 1部、10チーム出場 2部、8チーム出場 3部、8チーム出場 3部、8チーム出場 高士40リーグ、0チーム出場 (昨年ののチーム は、佐野40、JCLなどへ移行) 佐野40リーグ、新型コロナウイルスの影響で縮小し、4チーム出場 WOMEN'S J-BASH(オールスターズ開催, チャレンジリーグに3チーム参加, ソーシャルに約50人参加) 日本女子クリケットトーナメント、新型コロナウイルスの影響で中止 日本女子クリケットリーグ、新型コロナウイルスの影響で中止 チャンピオンズウィケット(学生)エキシビジョンマッチとして開催 関東学生選手権(男女)、新型コロナウイルスの影響で中止 関西学生選手権(男女)、男子5チーム、女子2チー

		ム出場 学生新人戦、新型コロナウイルスの影響で中止 日本U19クリケットリーグ、6チーム出場 日本U15クリケットリーグ、5チーム出場
ソーシャルリーグ	女性、大学生、在日外国人などを主なターゲットに都市 部で、また「クリケットのまち」で、スポーツと交流が 気軽に楽しめる、革新的なソーシャル(簡易版)クリケッ トによって競技人口増加、ダイバーシティに富むコミュ ニティの形成を促進。 ・ チャンピオンズトロフィー ・ SBI Cup(後援) ・ 佐野社会人リーグ ・ 昭島クリケット祭り ・ その他	 チャンピオンズトロフィー、新型コロナウイル スの影響で中止 SBIカップ、新型コロナウイルスの影響で中止 Women's J-BASHソーシャル:2回開催し、約50 人が参加 佐野社会人リーグ:2回開催し、10チーム出場 昭島クリケット祭り:新型コロナウイルスの影響で中止

3) 強化事業

事業名	事業内容	事業報告
選手育成	 優れたポテンシャルを持つ選手を発掘し、生涯にわたってスポーツにかかわる人材を育成。特にクリケットの発展を担う人材や世界で活躍できる選手を育成。 日本代表強化選手団(男女) ナショナルアカデミー 海外チーム招聘 強化試合 	 ハイパフォーマンス・マネージャーを選任、12 月末に来日 【強化選手団・アカデミー等強化活動】 3月の選考会を新型コロナウイルスの影響で中止 年内に来日できなかった海外在住プレーヤーと コミュニケーションを維持 8月より強化活動を実施 女子日本代表強化選手団合宿に有望選手を招待し、選手を追加選出 男子日本代表及びナショナルアカデミーのメン バーを含むAチームでエンバシーカップに出場
国際大会	世界で活躍できる日本代表を育成し、アスリートのポテ	【ICC U19ワールドカップ】

	ンシャル実現、スポーツによる国際親善、スポーツの素晴らしさの発信、クリケットの認知向上、ファン増加な どを促進。生涯にわたってスポーツにかかわる人材を育 成。特に、日本人スター選手の育成によって発信力を強 化。 ICC ¹ U19ワールドカップ ICC男子ワールドカップEAP ² 予選 東アジアカップ(未定)	 1月17日から南アフリカで開催され、0勝5敗1分で16位/16チーム 【ICC男子ワールドカップEAP予選】 新型コロナウイルスの影響で2021年Q4に延期 【東アジアカップ】 新型コロナウイルスの影響で中止。2021年以降の実施について関係協会と協議中
PR・ファン醸成	 多くの人を魅了するイベント、プログラム、選手などの 実施や広報により、クリケットの価値を発信し、競技人 ロやファンの増加を促進。また、「クリケットのまち」 への交流人口の増加により、地域との共栄を促進。 ウェブサイト、SNS、ニュースレターを活用した情報発信 元プロ野球選手のクリケット転向支援 佐野市地方創生プロジェクト協力 	 プレスリリースパートナーを決定 NHK Eテレに佐野ジュニアクリケットクラブが 出演 U19ワールドカップを通じて情報発信を強化 ICCの支援でオーストラリア協会専門スタッフの コンサルティングを受け、メディア・コミュニ ケーション戦略を立案し、ウェブサイト、SNS ニュースレターを活用した情報発信を強化 山本武白志選手(日本代表強化団選出)関連記事が 東京中日スポーツ掲載、FMヨコハマ出演。 日経新聞に「非五輪競技の挑戦」として記事掲 載 佐野市長杯、U19ワールドカップ出場、ICC表 彰、国際大会の誘致、佐野クリケットチャレン ジ!!!などが栃木県内各メディアで露出 昭島市長杯が西多摩新聞に掲載 金田紋佳選手が知多地方のケーブルテレビに出 演 鹿野あかり選手の強化選手団選出が河北新報 に、佐野市在住の選手の選出が下野新聞に掲載 宮地静香選手がネットメディア"Around the Wicket"のビデオインタビューに出演 宮地事務局長がポドキャスト"Japan Sports Stories"に出演 貝塚市立クリケットフィールドのオープンが読

¹国際クリケット評議会(International Cricket Council)の略称 ²東アジア太平洋(East Asia-Pacific)の略称

	 売新聞、日経新聞、NHK(テレビ)、J:COM、 NHKラジオで紹介 仙台大学クリケット部がスタンダード宮城に記 事掲載
--	--

4) 組織事業

事業名	事業内容	事業報告
コミュニケーション	情報発信や連絡会議などを実施し、ベストプラクティス や成功事例などを共有し、クリケット界の発展を支える とともに、ダイバーシティに富むコミュニティの形成を 促進。 ・ 総会及び地域協会会議の開催 ・ ニュースレターの配信	 3月21日に予定されていた総会は新型コロナウイルスの影響で電子媒体で開催 3月21、22日に予定されていた地域協会会議は新型コロナウイルスの影響で中止 ニュースレターを四半期ごとに配信 各地域協会、大会運営委員会とのコミュニケーション向上に努めている
ガバナンス &コンプライアンス	健全で発展的な協会運営によって競技人口の増加を図る ため、協会の発展に応じて、最善のガバナンスと最高の コンプライアンスを達成するために組織強化を推進。	 ICCへの2019年財務及び事業報告を完了 ICCへの2019年統計調査を完了 ICCへの2020年財務報告を四半期ごとに報告 ICCの新任のEAPマネージャーのEd Shuttleworth 氏の来日が新型コロナウイルスの影響で予定が 立たず、ビデオ会議等を実施 スポーツ庁のガバナンスコードに基づき、ガバ ナンス改善の実施を開始 法務局への登記変更を完了 日本オリンピック委員会への年度報告を完了 日本アンチ・ドーピング機構への年度報告を完了 日本レクリエーション協会への年度報告を完了 国税庁へ収益事業における財務報告を完了

5) 財務事業

事業名	事業内容	事業報告
寄付金・スポンサー	事業の拡大によって競技人口の増加を図るため、寄付金 やスポンサーを募集。	 新たなパートナーと契約を締結 パートナーに対して定例報告を実施 J-BASHオールスターにパートナーを招待し、観戦会を実施
その他の収入	事業の拡大によって競技人口の増加を図るため、受益者 負担制度などにより、コスト負担の均等化を促進。	 ビジネスディベロップメント・コーディネー ターを雇用 川崎にて、新たなジュニアクラブの開設準備中 佐野市国際クリケット場での教室拡充を検討中 (新型コロナウイルスの影響で実施未定) BSTの体育でクリケット指導を受託・開始

1.1 2020 Operation Report (20201231)

1. 2020 Focus

Based on the JCA 5 year Strategy 2018-2022, "Building a Brighter Future", the priorities for 2020 will be to increase participation in Junior and Social Cricket in the Kanto region while developing Cricket infrastructure and competition structures outside of the Kanto region.

2. 2020 Priorities

Priorities	KPIs	Report
Junior	 Complete the standardisation of Junior Participation Programmes Grow participation in the Cricket Blast School Series <u>Start a new location for the JCA Jr Club in Kawasaki</u> 	 Reviewed the CRICKET BLAST School Series, plans to update the CRICKET BLAST Programme as a whole. Planning to start the Kawasaki Jr Club 2021. Agreed on the usage of the ground with BST. Started free trials. Had a positive first meeting with Kawasaki City and started collaborating with them.
Social	 <u>Start new Social Cricket initiatives targeting partner</u> organisations while growing existing ones in Sano and Akishima 	 Social Cricket with JCA Partners and University League cancelled due to Coronavirus. Women's J-BASH Social held twice Sano Social League held Akishima Cricket Festival cancelled due to Coronavirus
Facilities	 Install a hard pitch in Kaizuka Install indoor nets in Sano Install outdoor nets in Kawasaki Renew the mats on Sano Ground 1 and 3 Renew the mat on Fuji Ground 2 	 Installed a hard pitch in Kaizuka, expanded the grass Kaizuka Cricket Field Opened Installed indoor nets at the SICG Installed outdoor nets in Kawasaki Renewed the mats on Sano Ground 1 and 3 Renewed the mats on Fuji Ground 2

People	 Provide hands-on support to regional associations in Administration, Competitions and Junior Participation. Provide hands-on support for competitions. Increase community events that engage the Cricket Community such as Social Cricket, Promotional Events and Education Courses. 	 [Regional Association and Competition Support] Supporting the running of regional competitions Supporting the Kansai Association to prepare to become a General Incorporated Association [Engagement with the Cricket Community] Japan Premier League expanded from four teams from Kanto to 5 teams including Kansai. The matches were streamed live Embassy Cup held in September with live streaming Took in an intern from the National Squad
PR	 National Media exposure in 2 occasions 	 Sano Jr Club on NHK ETV The U19 National Team taking part in the World Cup created extensive exposure around the world. Musahi Yamamoto's selection to the National Squad was picked up by Tokyo Chunichi Sports Newspaper and FM Yokohama The development of Cricket as a diverse sport was introduced by Nikkei Newspaper
National Teams	 Enter a team in the ICC U19 World Cup Employ a permanent coach for the HP programmes Review player fees 	 Participated in the ICC U19 World Cup (16th out of 16 teams) Appointed a High Performance manager. Certificate of Eligibility obtained. Arrived at the end of December
Other	 <u>Further engage with JCA Partners</u> <u>Relocate the JCA Office</u> 	 Held catch ups with existing JCA Partners Signed new press release partner Agreed with Sano City on Office Relocation to the SICG

3. 2018 Project List

1) Development

Project Description Report

City of Cricket Projects	Developing Sano, Akishima, Sammu, Kaizuka as "Cities of Cricket" while investigating new candidate cities in the Tohoku and Tokai regions.Stat developing jr programmes in Kawasaki.	 [Tohoku] 2 media exposure [Sano] Also see CRICKET BLAST, and Social League sections Supporter Club Membership for 2020: 5,817,000 yen 8 media exposures [Akishima] Also see CRICKET BLAST, and Social League sections Supporter Club Membership for 2020: 2,221,000 yen 1 media exposures [Sammu] Booked ground for the year [Tokai] 1 media exposure [Kaizuka] Also see CRICKET BLAST section Installed a hard pitch and the construction on the ground was completed by the City. Expanded grass to enlarge the ground to Women's International size. Kaizuka Cricket Field Opened. Agreed on the usage and maintenance of the ground. 1 media exposure
Cricket Blast Programme (Junior Participation)	School Visits, School Cups, Series, School Series, Teacher Education, Teaching Resource development in Sano, Akishima, Edogawa, Kawasaki, Mie, and Kaizuka.	 [Sano] School Programme: 3 schools, 10 classes, 280 participants (540 cumulative participants) Have-A-Go events: 12 events, 984 participants School Series: 4 schools, 5 series, 140 participants (392 cumulative participants) Series (Spring): 4 sessions, 41 participants (78 cumulative participants)

		 Series (Autumn): 4 sessions, 63 participants (95 cumulative participants) [Akishima] School Programme: 10 schools, 180 classes, 1,335 participants (5,242 cumulative participants) Have-A-Go events: 0 events, 0 participants Bukatsu: 41 sessions, 5 members School Series: 1 schools, 1 series,220 participants (37 cumulative participants) Series (Spring - Online): 4 sessions, 6 participants (13 cumulative participants) Series (Autumn): 4 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 4 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 4 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 1 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 1 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 1 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 4 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 4 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Series (Autumn): 4 sessions, 34 participants (74 cumulative participants) Had a positive first meeting with Kawasaki City and started collaborating with them. [Kaizuka] School Programme: 1 school, 6 classes, 15 participants (90 cumulative participants) Have-A-Go events: 1 event, 50 participants [Edogawa/Mie/Kaizuka] CB programmes cancelled due to Coronavirus
JCA Jr Club	Running subscription based Jr clubs in Sano, Akishima and Kawasaki.	 [Sano Braves (Hard Ball)] Every Monday, 19 members [SanoOrions (Soft Ball)] Every Thursday (Enjoy and Skill Up classes) and Every Friday (Expert class), 15 members [Sano Water Crowns (Soft Ball)] Every Wednesday (Enjoy, Skill Up, Expert classes), 14 members [Akishima Aviators] Every Friday (Enjoy, Expert classes), 27 members [Kawasaki] Preparing to start a new Jr Club location. Started

		free trials.
Jr Teams (Junior High Schools and High Schools)	Supporting the establishment of school teams in Sano, Akishima and other locations including International Schools to increase participation in U15 and U19 age groups	 Communicated with a British school opening a school in Japan regarding Cricket activities Communicated with a new International school in Hiroshima regarding Cricket activities Communicating with an education entity in Okayama regarding Cricket activities
Overseas Partnerships	Cricket Victoria, Cricket Without Borders, Maribyrnong Sports Academy and MCC	 [Cricket Victoria] CV Development placement, CWOB placement, Maribyrnong Sports Academy placement, and MCC placement cancelled due to the Coronavirus
Cricket for Smiles	Tohoku Development and Sendai University Project	 Supported Sendai University Cricket Club by sending coaches, provided support to participate in competitions, and education etc SupportedSendai University's participation in the Women's J-BASH Challenge League
Education	Coach, Umpire, Score, Club Management Education	 Umpire education courses planned in Tokyo, Aichi, and Kansai were cancelled due to the Coronavirus.
Regional Association Support	Support to establish and effectively run Regional Associations, Japan Cup Qualifiers and CRICKET BLAST Programmes.	 [Regional Association Support] The Regional Association Meeting planned on March 21, 22 was cancelled due to the Coronavirus. (Considering an alternative timing in October) Supporting the Kansai Association to prepare to become a General Incorporated Association Supporting Japan Cup Regional Qualifiers
Ground Maintenance	Sano, Fuji	[Sano International Cricket Ground]Report submitted for 2019 FY

		 Planning and Contracting for 2020 FY Started developing area south of SICG 2 [Sano Grounds 1-4] Renewed the mats on Sano Ground 1 and 3 [Fuji Grounds 1 & 2] Renewed the mats on Fuji Ground 2 Purchased a new mower Maintenance planning with Ground Manager [Kaizuka Cricket Field] Discussed and agreed on maintenance with Kaizuka City
Facility Development	Working on opportunities in Akishima, Sendai, Tokyo, and Nagoya. Developing indoor nets at the SICG, outdoor nets in Kawasaki, and a hard pitch in Kaizuka.	 [Sano International Cricket Ground] Installed indoor nets [Kawasaki Nagasawa Sports Ground] Installed outdoor nets [Kaizuka Cricket Ground] Installed Hard Pitch Advised City on the construction of the Ground Expanded grass to enlarge the ground to Women's International size Kaizuka Cricket Field Opened [Opportunity near Sendai] Negotiating with local council on potential ground

2) Competitions

Projects	Description	Report
Hardball Leagues (Men, Women, University, U19, U15)	 Japan Premier League Japan Cup National Finals Japan Cup Regional Qualifiers (Tohoku, North Kanto, East Kanto, West Kanto, South Kanto, Tokai, Kansai) Japan Cricket League 	 Japan Premier League: 5 regional representative teams from Kanto and Kansai Japan Cup National Finals: cancelled due to Typhoon Japan Cup Regional Qualifiers Tohoku: 2 teams

	 Fuji 40 League Sano 40 League Women's J-BASH Japan Women's Cricket League Japan Women's Cricket Tournament Champion's Wicket (University) Kanto University Leagues (Men, Women) Kansai University Leagues (Men, Women) Japan U19 Cricket League Japan U15 Cricket League 	 North Kanto: 7 teams East Kanto: 6 teams West Kanto: 8 teams South Kanto: 8 teams Tokai: 4 teams Kansai: 7 teams Japan Cricket League Division 1: 10 teams Division 2: 8 teams Division 3: 8 teams Fuji 40 League: 0 teams (teams from last year moved to Sano 40 League or to the JCL) Sano 40 League: shortened league with 4 teams due to Coronavirus Women's J-BASH (All Stars held, Challenge League held with 3 teams, Social held with approx. 50 participants) Japan Women's Cricket Tournament: cancelled due to Coronavirus Champion's Wicket (University): held as exhibition match Kansai University Leagues: 5 Men's teams, 2 Women's teams Japan U19 Cricket League: 6 teams Japan U15 Cricket League: 5 teams
Social Leagues	 Develop a modified format and run tournaments. Champions Trophy SBI Cup (Official Support) Sano Social League Akishima Cricket Festival Other 	 Champions Trophy and SBI Cup was been cancelled due to Coronavirus Women's J-BASH Social: 2 days held with approx. 50 participants Sano Social League: 2 match day held with 10 teams Akishima Cricket Festival: cancelled due to

Coronavirus

3) Performance

Projects	Description	Report
High Performance Programmes (Player Development)	 National Academy National Squads (Men, Women) Tours from overseas Practice matches 	 The appointed High Performance Manager resigned and a new Manager was appointed. Certificate of Eligibility has been acquired and the manager arrived in Japan in late December. [National Squad & Academy] Selections in March were cancelled due to the Coronavirus Maintained communication with overseas-based players who were unable to visit Japan in 2020 High Performance programmes resumed in August Additional members were added to the Women's National Squad after some candidates were invited to a camp Japan Men & Japan A (Including some Under 19 players) competed in Embassy Cup
International Tournaments	 ICC U19 World Cup (South Africa) ICC Men's T20 World Cup EAP Qualifier (TBC) East Asia Cup (Women, TBC) 	 [ICC U19 World Cup] Participated in the tournament from January 17 in South Africa. 0 wins, 5 losses, 1 draw. 16th out of 16 teams [ICC Men's T20 World Cup EAP Qualifier] Postponed to 2021 Q4 due to Coronavirus [East Asia Cup] The event was cancelled due to Coronavirus for 2020. Plans for 2021 onwards are currently being discussed with the participating members
PR / Fan Development	Promote Cricket through attractive events, programmes	Confirmed new press release partner

National Teams and develop a fan base.	 Sano Jr Club on NHK ETV Created Japan Cricket Instagram account Promotion through Website, Social Media and the Newsletter Obtained ICC support to create a Media and Communication Strategy through Cricket Australia staff Used the U19 World Cup to increase promotion activity. Musahi Yamamoto's National Squad selection in Tokyo Chunichi Sports Newspaper, FM Yokohama The development of Cricket as a diverse sport was introduced by Nikkei Newspaper The Sano Mayor's Cup, U19 World Cup participation, ICC Awards, Hosting of International Tournaments, Sano Cricket Challenge!! etc were covered by various media in Tochigi Prefecture Akishima Mayor's Cup was covered by Nishitama Newspaper Ayaka Kanada on local Cable TV Akari Kano (Kahoku Shimpo), and Sano Players (Shimotsuke Newspaper) selection in local papers Shizuka Miyaji interviewed on online media "Around the Wicket" Alex Miyaji interviewed on podcast "Japan Sports Stories" The opening of the Kaizuka Cricket Field was covered by various media in Kansai Sendai University Cricket Club was introduced on Standard Miyagi
--	--

4) Leadership

Projects	Description	Report
Communication	 Communication and sharing of information within the cricket community. AGM and meetings with regional associations Newsletters 	 AGM planned on March 21 was cancelled due to the Coronavirus. The Regional Association Meeting planned on March 21, 22 was cancelled due to the Coronavirus. (Considering an alternative timing in October)) Published a Newsletter every quarter Communication with Regional Associations and Competition Organising Committees.
Governance & Compliance	Aspire to achieve high standards to ensure the effective running of the association and growth of Cricket.	 Completed ICC Reporting for 2019. Completed ICC Census for 2019. Submitted ICC Q Reports Communicated with Ed Shuttleworth, the new ICC EAP Manager, through video calls etc as his first visit to Japan is on hold due to the Coronavirus. Started reviewing the governance of the JCA based on the Sports Agency Guidelines Completed Registration at Legal Affairs Office Completed Annual Report to JADA Completed Annual Report to JRA (Recreation) Completed Annual Report to Tax Office

5) Investment

Projects Description Report

Donations / Sponsorship	Supporter Clubs in Akishima & Sano plus outside investment	 Signed JCA Partnership Contract with new partner. Regular reporting to partners Invited partners to watch the J-BASH All Stars
Other Revenue Streams	Maintain and develop beneficiary pay systems to ensure that investment to grow the sport is secured and maintained.	 Appointed a Business Development Coordinator. Preparing to start a new Jr Club in Kawasaki. Planning for increasing membership and programmes run at the Sano International Cricket Ground. (Delivery subject to Coronavirus) Started coaching services for BST PE classes